

平成26年度 第6回 大学運営連絡会議事要旨

日 時 平成26年10月14日（火） 10時30分～11時25分

場 所 大学本部2階大会議室

出席者 学長，瀬口理事，中島理事，岩本理事，宮崎理事，佐々木監事，甲斐文化教育学部長，藤本医学部長，石橋工学系研究科長，諸泉全学教育機構副機構長，早川総合分析実験センター長，事務局長

欠席者 平地経済学部長（代理畑山教授出席），渡邊農学部長，森田附属病院長，富田附属図書館長

○ 学長から，前回の大学運営連絡会議事要旨の確認依頼があった。

【 報告・連絡事項 】

(1) 平成25年度に係る業務の実績に関する評価結果（原案）について

岩本理事から，本件について，国立大学法人評価委員会の「業務運営・財務内容等の状況」に係る4項目のうち，「（4）その他の業務運営に関する」項目は「おおむね順調」（昨年度からひとつランクが下がった状態），それ以外の3項目は全て「順調」の評価を得ている旨説明があった。

また，増子評価室長から，課題として指摘された事項，注目された事項等について，評価室の分析結果を基に概要説明があった。課題として指摘された事項について，会計検査院による検査において発覚したものではなく，学長指示のもとに自主的に行った調査により把握した過年度の事例であり，すでに再発防止に取り組んでいることを明確にするために，評価結果（原案）に対する意見申立てを行う旨の説明があった。

(2) 第2期中期目標期間の教育研究評価について

岩本理事から，本件について，第2期中期目標期間の「教育」，「研究」の達成状況評価の仕組みや現況分析の必須項目など，学内において共通理解を深めておくことが必要であることから，学部等連絡担当者等を対象とした学内説明会を開催する旨説明があった。作業を円滑に無駄のないよう進めるためにも担当者欠席の場合は代理出席を依頼された。

また，増子評価室長から，達成状況評価の仕組みについて，大学評価・学位授与機構の評価マニュアルをまとめた参考資料を基に説明があった。

学部・研究科の現況分析結果を参考とした結果によっては段階判定が変わる点が重要であり、また、進路・就職の状況（卒業・修了後の状況から判断される在学中の学業の成果を把握するための取組とその分析結果）は、各大学必須項目で、本学も早めに取り組む必要がある旨説明があった。

さらに、企画評価課長から、第3期中期目標・計画策定と大学評価に関わるスケジュールについて、平成27年度6月に中期目標・計画（素案）、平成26年度実績報告書、認証評価報告書を同時期に提出することから、平成26年度中に計画的な作業を進める旨説明があった。

- (3) 「国立大学法人の組織及び業務全般の見直しに関する視点」について及び国立大学法人の第3期中期目標・中期計画の項目等について

企画評価課長から、本件について、文部科学省高等教育局国立大学法人支援課からの事務連絡により、組織の見直しに関する視点、第2期中期目標・中期計画の項目等との変更点について説明があった。

- (4) 就職支援に関するヒアリングについて

企画評価課長から、本件について、平成26年8月5日、28日に平成25年度就職率（B）が90%を下回った学科・課程を対象にヒアリング実施した旨、来年度は、就職率（B）の目標値を文系88%、理系92%とする旨報告があった。

- (5) 芸術学部等設置に向けたスケジュールについて

企画評価課長から、本件について、有田キャンパスの実現に向けた全体スケジュール表を基に説明があり、平成27年3月の文部科学省への芸術学部等設置認可申請書提出に向けての協力依頼があった。

- (6) 平成26年度第5回及び第6回拡大役員懇談会における議論の概要について

企画評価課長から、9月3日及び17日に開催された拡大役員懇談会の議論の内容について、その概要の報告があった。

- (7) 経費削減状況の報告について

財務課長から、本件について、平成26年度8月までの電気、上・下水道等の実績額の報告があり、新たに、前回報告より増減額が改善していない部局が表記され、複写機使用料の白黒・カラーコピー別内訳を追加した旨説明があった。また、医学部附属病院におけるB4用紙の増加要因について、平成25年10月の給食管理システム稼働との説明があった。学長から、金額の桁表記について見やすくするようとの指示があった。

- (8) 休講及び代替措置の実施報告について（平成26年度前学期）
教務課長から、本件について、休講及び代替措置実施報告一覧、休講理由一覧に基づき報告があった。学長から、休講率について学部間の差がないようにとの発言があった。
- (9) 全学教育機構国際教育カリキュラム検討委員会の設置について
全学教育機構副機構長から、本件について、国際教育カリキュラムを開発するため、本委員会を設置するにあたり、国際交流推進センター国際交流企画推進室に各学部等から選出された教員に協力いただきたい旨、また、9月開催の国際交流推進センター企画部門委員会及びセンター運営委員会において了承済みである旨を各学部長等に認識いただきたいとの説明があった。
- (10) 授業点検・改善評価報告書及び簡易版ティーチング・ポートフォリオの入力状況について
瀬口理事から、本件について、入力・作成の目的は、教育改善のPDCAサイクルの実質化と情報公開を担う重要な手段である旨説明があった。また、評価反映特別経費の重点項目にも取り上げていることから、入力・作成率100%を目指し、入力状況を適時周知する旨、部局長から各所属教員へ更なる入力・作成をお願いする旨発言があった。
- (11) 本庄地区住民との親善球技大会について
総務課長から、本件について、開催日時等の説明があり、参加を呼びかけていただきたい旨発言があった。
- (12) その他
特になし。

【 各学部等からの報告・連絡事項 】

特になし。

【 その他 】

特になし。

以 上